第63回　日本生化学会北海道支部例会

日本生化学会北海道支部・日本生物物理学会北海道支部 合同シンポジウム

北海道大学遺伝子病制御研究所 共催

プログラム

2026年 11月 17日

於　北海道大学医学部 学友会館 フラテ

第 63 回 日本生化学会北海道支部例会

日時：2026年（令和 8 年）11 月 17日（火）9：30～

■ 会場所在地

〒060-8638 北海道札幌市北区北15条西7丁目

会場：北海道大学医学部 学友会館フラテ

（17：30 から北海道大学 医学部百年記念館で懇親会を開催します。）

■ アクセス

・公共交通機関のご利用を推奨いたします。

- 地下鉄「北12条」駅から徒歩約10分

・タクシー利用の場合

- 「北海道大学医学部正面玄関前」で下車

■ 飲食について

・事前に参加登録をされた方には、昼食（お弁当）をご用意しております。

・会場内には飲料・軽食の自販機が設置されています。

・会場付近にセブン-イレブン北海道大学工学部店があります(約100m)。



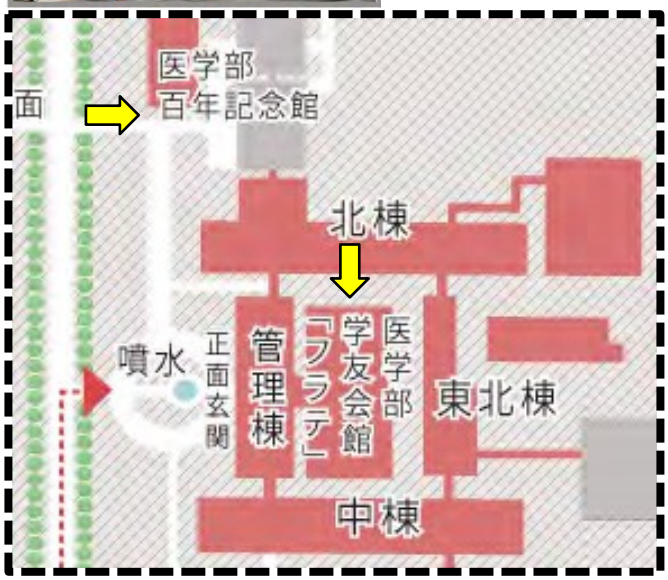
最寄り駅から会場までのアクセス

医学部百年記念館外観



会場付近詳細図

「医学部学友会館フラテ」へは、正面玄関よりご入場いただけます。



■ 参加者の皆様へ

【口頭発表者の皆様へ】

・ご自身の発表セッションが始まる前に、演台にて試写を完了していただけますようお願いいたします。
・プレゼンテーションは、発表者ご自身のPCをプロジェクターに接続し、ご自身で操作をお願いいたします。
・発表用ファイルをあらかじめ立ち上げた状態で待機し、前の発表終了後、速やかに接続してください。
・プロジェクターへの接続端子は、HDMI または RGB（D-sub 15ピン）です。
・発表時間はプログラム記載のとおりです。円滑な進行のため、時間厳守にご協力ください。
・希望者を対象に、若手優秀講演賞の審査を行います。

【発表時間の目安】

- 特別講演　　：講演 25分／質疑応答 5分
- 合同シンポジウム：講演 16分／質疑応答 4分
- 一般講演　　：講演 12分／質疑応答 3分

・時間管理のため以下のタイミングでベルを鳴らします。
　終了2分前：1回 ／ 終了時：2回 ／ 質疑終了時：3回

【ポスター発表の皆様へ】

・ポスター会場は、フラテホワイエ（2Fロビー）を予定しております。
・ポスターボードのサイズは「縦180cm×横90cm」です。
・各ポスターには演題番号が付されています。ご自身の番号のポスターボードに、当日11:00までに掲示をお願いいたします（受付後に掲示してください）。
・ポスター発表終了後も掲示や議論は可能ですが、懇親会準備の都合上、17:30までに撤収をお願いいたします。残っていた場合、事務局にて処分させていただく可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
・ポスターセッションの時間帯（12:55～14:15）は、各自ポスター前での発表・説明をお願いいたします。特に奇数／偶数番号ごとの指定時間には、必ずポスター付近にて待機・対応をお願いいたします。
・希望者を対象に、優秀ポスター賞の審査を行います。

【若手優秀講演賞・優秀ポスター賞　審査員の皆様へ】

・受付にて、審査用投票フォームのQRコードをお渡しいたします。
・演題番号の前に＊マークがついた演題が審査対象となります。所属研究室の演題以外への投票をお願いいたします。
・15:55までにフォームより投票くださいますようお願いいたします。

【座長の皆様へ】

・講演時間は上記ご案内のとおりです。円滑な進行にご協力くださいますようお願いいたします。

タイムテーブル

9：00　開 場

9：30　開 会

＜第 63 回例会長　園下 将大（北海道大学・遺伝子病制御研究所）＞

9：35～10：55（80 分）　**日本生化学会・日本生物物理学会 北海道支部合同シンポジウム** (講演 16 分、質疑応答 4 分)

＜座長：Chai C. Gopalasingam（北海道大学・理学部化学科理学研究院）、山村 凌大（北海道大学・遺伝子病制御研究所）＞

9：35～9：55　S-1

AMPK–MAPK 共標的化による腫瘍微小環境の再プログラム化と膵がん治療への応用

○山村 凌大[1]、園下 将大[1]

[1]北海道大学・遺伝子病制御研究所・がん制御学分野

9：55～10：15　S-2

基質の硬さにより制御されるがん細胞の増殖メカニズム

○石原 誠一郎[1]、榎本 篤[2]、酒井 晃太[2]、飯田 忠[2]、芳賀 永[1]

[1]北海道大学・大学院先端生命科学研究院・細胞ダイナミクス科学研究室、
[2]名古屋大学・大学院医学系研究科・腫瘍病理学

10：15～10：35　S-3

病原菌における抗菌ガス分解酵素の活性化の仕組みを解明

○Chai C. Gopalasingam[1,2,3]、Haruka Egami[2]、Hideki Shigematsu[4]、Masatora Sakaue[2]、Kouki Fukumoto[2]、Christoph Gerle[2]、Masaki Yamamoto[2]、Yoshitsugu Shiro[3]、Kazumasa Muramoto[3]、Takehiko Tosha[3]

[1]北海道大学・理学部化学部門・分子生命化学研究室、
[2]兵庫県立大学大学院理学研究科・細胞制御学 II 分野研究室、
[3]理化学研究所放射光科学研究センター・生物系ビームライン基盤グループ、
[4]高輝度光科学研究センター・回折・散乱推進室

10：35～10：55　S-4

細菌性コラゲナーゼの巧みなコラーゲンほぐし及び切断メカニズム

沖 大也[1]、○武部 克希[2,3,4]、藤井 一徳[5]、増田 亮[6]、美間 健彦[7]、小出 隆規[5,6]、松下 治[4]、Joshua Sakon[8]、河原 一樹[3,9]

[1]大阪大学微生物病研究所附属遺伝情報実験センター、[2]北海道大学歯学研究・微生物学講座、
[3]大阪大学大学院薬学研究科、[4]岡山大学大学院医歯薬学総合研究科、
[5]早稲田大学先進理工学部、[6]早稲田大学理工学術院総合研究所、
[7]愛媛県立医療技術大学保健科学部、
[8] Department of Chemistry and Biochemistry, University of Arkansas、
[9]大阪公立大学 大学院創薬科学研究科

10：55～11：10（15 分）　**休 憩**

11：10～12：10（60 分）　**一般講演 1** (講演 12 分、質疑応答 3 分、**＊は優秀講演賞応募演題**)

＜座長：喜多 俊介（北海道大学・薬学研究院）＞

11：10～11：25　*O-01

狂犬病ウイルスが宿主免疫を選択的に抑制する機構の解明

○武川 祐一郎[1]、南 未来[1]、飯塚 祐太[1]、杉山 葵[2]、尾瀬 農之[2]

[1]北海道大学・大学院生命科学院、[2]北海道大学・大学院先端生命科学研究院

11：25～11：40　O-02

炎症性肺疾患で増加する PD-1^{mid}CD57^{+} CD4^{+} T 細胞がもつ炎症性と抑制性の二面性

○村上 薫[1,3]、佐藤 一紀[1,2]、田中 くみ子[1]、児島 裕一[1,2]、村上 正晃[1,3,4,5]

[1]北海道大学・遺伝子病制御研究所・分子精神免疫学分野、

[2]北海道大学・大学院医学研究院・呼吸器内科学教室、

[3]量子科学技術研究開発機構・量子生命科学研究所・量子免疫学チーム、

[4]生理学研究所・分子神経免疫研究部門、[5]北海道大学・ワクチン研究開発拠点

11：40～11：55　*O-03

SARS-CoV-2 抗 S2 抗体の構造機能解析

○吉田 雄紀[1]、染谷 太陽[1]、野間 井智[1]、前仲 勝太[1]、逸見 拓矢[2]、橋口 隆生[2]、加藤 幸成[3]、野口 耕司[4]、福原 秀雄[5]、喜多 俊介[1]、前仲 勝実[1、5、6]

[1]北海道大学大学院薬学研究院、[2]京都大学医生物研究所、[3]東北大学大学院医学系研究所、

[4]東京理科大学薬学部、[5]北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所、[6]九州大学薬学研究院

11：55～12：10　*O-04

N 型糖鎖による FGFR の機能制御

○高野 慧一郎[1,2]、長谷川 喜弘[1,2]、藤谷 直樹[1]、有木 茂[1,3]、小橋 建太[1,2]、新谷 紀享[1,4]、赤塚 正幸[1,5]、千葉 弘文[2]、高橋 素子[1]

[1]札幌医科大学・医学部・生化学講座・医化学分野、

[2]札幌医科大学・医学部・内科学講座・呼吸器、アレルギー内科学講座、

[3]札幌医科大学・医療人育成センター・化学、[3]札幌医科大学・医学部・小児科学講座、

[3]札幌医科大学・医学部・集中治療医学講座

12：10～12：55　昼食休憩 (お弁当配布)

（45 分）

12：55～14：15　ポスター発表 (＊は優秀ポスター賞応募演題)

（80 分）

12：55～13：35　奇数番号演題

13：35～14：15　偶数番号演題

14：15～14：30　休 憩

（15 分）

14：30～15：30　一般講演２ (講演 12 分、質疑応答 3 分、**＊は優秀講演賞応募演題**)

（60 分）　＜座長：野田 展生（北海道大学・遺伝子病制御研究所）＞

14：30～14：45　*O-05

軟らかい ECM が誘導するタンパク質による vimentin 依存的な細胞遊走の抑制

○吉川 剛史[1]、石原 誠一郎[2]、芳賀 永[2]

[1]北海道大学 大学院生命科学院 細胞ダイナミクス科学研究室、

[2]北海道大学 大学院先端生命科学研究院 細胞ダイナミクス科学研究室

14：45～15：00　*O-06

脂肪酸伸長酵素 *ELOVL1* S165F 変異による顕性遺伝性皮膚神経疾患発症機構の解明

○伊藤 詩歩[1]、牧 優香[2]、大塚 賢人[2]、佐々 貴之[1–4]、木原 章雄[1–3]

[1]北海道大学・薬学部・生化学研究室、[2]北海道大学・大学院生命科学院・生化学研究室

[3]北海道大学・大学院薬学研究院・生化学研究室、[4]九州産業大学・生命科学部

15：00～15：15　*O-07

α-水酸化セラミド産生に関わる新規 2-水酸化酵素 TMEM45A/B の同定

○伊藤 優太[1]、大塚 賢人[1]、鈴木 寿真[1]、佐々 貴之[1, 2, 3]、木原 章雄[1, 2]

[1]北海道大学・大学院生命科学院・生化学研究室、

[2]北海道大学・大学院薬学研究院・生化学研究室、[3]九州産業大学・生命科学部

15：15～15：30　O-08

ミッドボディは線虫 *C. elegans* 初期胚の細胞極性開始を制御する

○山本 一徳[1]、茂木 文夫[1]

[1]北海道大学・遺伝子病制御研究所・茂木研究室

15：30～15：45　日本生化学会北海道支部総会

（15 分）　＜議長：村上 正晃（北海道大学・遺伝子病制御研究所、北海道支部長）＞

15：45～15：55　休 憩

（10 分）

15：55～16：55　特別講演 (講演 25 分、質疑応答 5 分)

（60 分）　＜座長：園下 将大（北海道大学・遺伝子病制御研究所）＞

15：55～16：25　特別講演-1

修飾 RNA の代謝から見えてきた生体情報伝達と疾患

○小川 亜希子[1,2]

[1]東北大学大学院薬学研究科・薬学部 モドミクス薬学分野、

[2]東北大学加齢医学研究所 モドミクス医学分野

16：25～16：55　特別講演-2

天然物を超える分子を創る：天然物創薬のための分子多様化戦略

○市川 聡[1,2,3]

[1]北海道大学大学院薬学研究院創薬科学研究教育センター有機合成医薬学部門、

[2]北海道大学化学反応創成研究拠点（ICReDD）、[3]北海道大学ワクチン開発拠点（IVReD）

16：55～17：15　若手優秀講演賞・優秀ポスター賞受賞者の発表・表彰

（10 分）

17：15～17：20　閉 会

＜第 63 回例会長　園下 将大（北海道大学・遺伝子病制御研究所）＞

17：30～　懇親会（北海道大学 医学部百年記念館）